

平成28年度 浦安市小・中学生生活実態調査

結果概要版

■調査目的

本調査は、子どもを取り巻く社会変化や教育情勢と子どもの生活との関連性を客観的に把握し、分析することを通して、本市教育の充実を図るために実施しました。この概要版は、その中から主な結果を取り上げてまとめたものです。

■調査期間

平成28年6月20日～平成28年7月1日

■調査方法

質問紙による自記式調査（学校で実施・回収）

■調査項目

ふだんの生活について／勉強や読書について／
友だちや家の人との関係について／地域の人たちとの関係について／
ネットやメールについて／自分自身について など

■対象者の属性

性別／学年別回収サンプル数

	全体	小学生							中学生			
		計	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年生	2年生	3年生
男子	2001	1538	233	259	267	264	253	262	463	160	158	145
女子	1940	1507	227	225	251	260	281	263	433	151	140	142
無回答	25	23	13	2	3	1	2	2	2	0	1	1
全体	3966	3068	473	486	521	525	536	527	898	311	299	288

■その他

- ・複数の選択肢の割合をまとめる場合は、各選択肢の割合の合計値で表しています。
- ・小学校1～3年生を「低学年」、小学校4～6年生を「高学年」と表記しています。

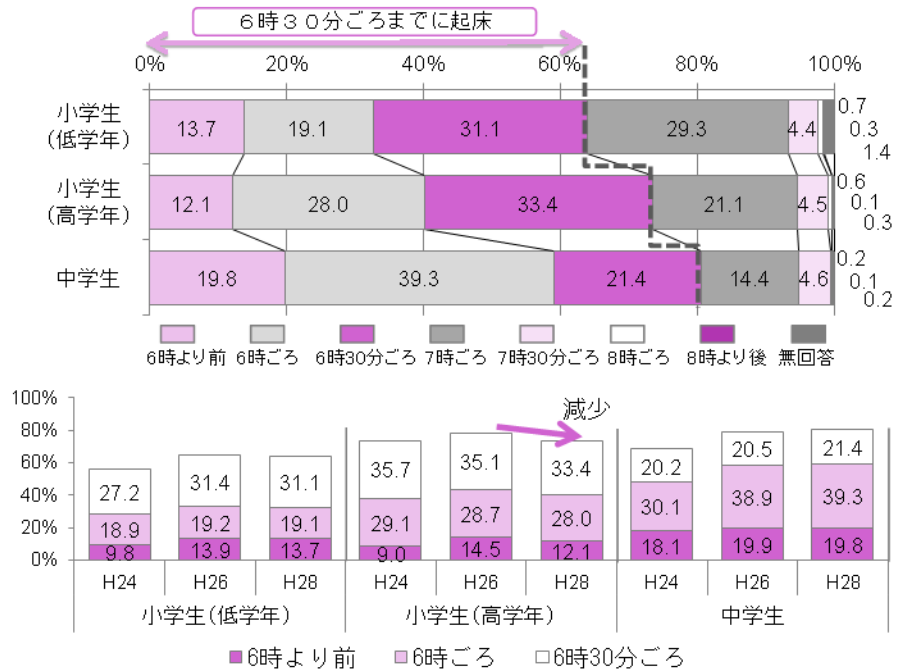
1. ふだんの生活について

Q 学校がある日は、朝だいたい何時ごろに起きていますか

小学生低学年の約6割、高学年の約7割、中学生は約8割が「6時30分ごろ」までに起床している。

「6時30分ごろ」までに起床している割合は、低学年では約6割、高学年では約7割、中学生では8割を超えています。また、中学生では、約6割が「6時ごろ」までに起床しています。

前回、前々回の調査と比較すると、高学年で「6時30分」ごろまでに起きる割合が減少しています。



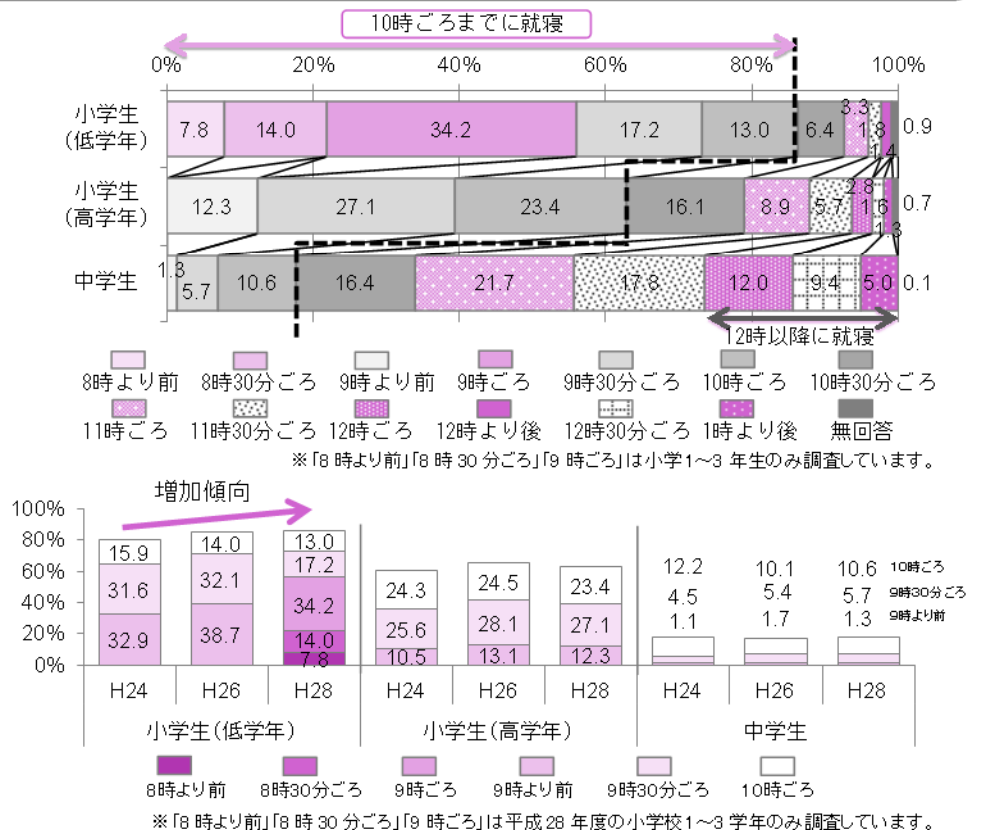
Q 学校がある日は、夜だいたい何時ごろに寝ていますか

小学生低学年の約9割、高学年の約6割が「10時ごろ」までに就寝している。また、中学生の約3割が「12時ごろ」以降に就寝している。

「10時ごろ」までに就寝している割合は、低学年では8割、高学年では6割を超えています。また、中学生では2割程度となっています。

また、中学生では、約3割が「12時ごろ」以降に就寝しています。

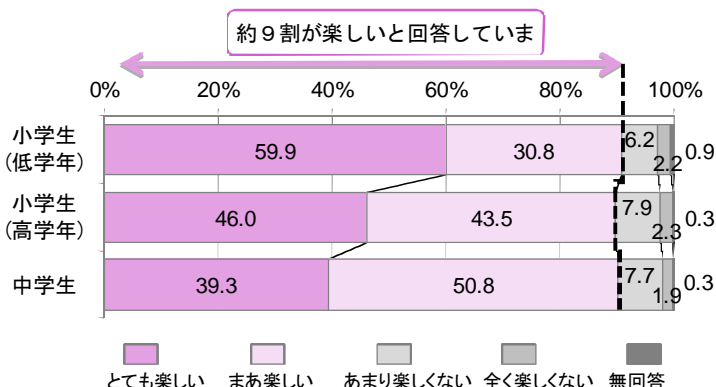
前回、前々回と比較すると、低学年では「10時ごろ」までに就寝する割合が増加する傾向にあります。



Q 学校に行くのは楽しいですか

約9割の児童・生徒が「学校に行くのが楽しい」と感じている。

「学校に行くのが楽しい」(「とても楽しい」+「まあ楽しい」)の割合は、小学生・中学生ともに、約9割となっています。その中で、「とても楽しい」と感じている割合は、低学年で約6割、高学年、中学生になるにつれて低くなっています。

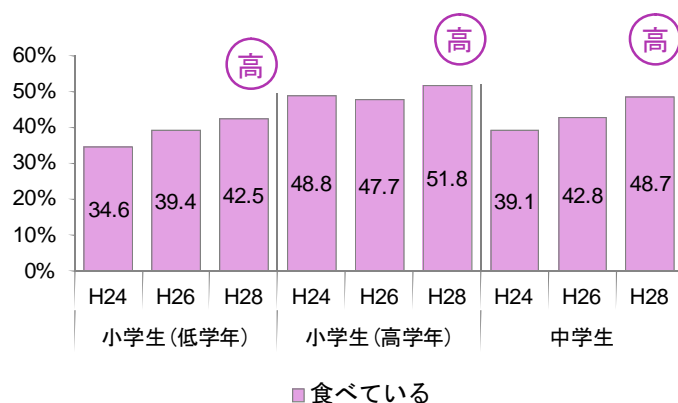


Q 給食を残さず食べていますか

「給食を残さず食べている」の割合が過去3回の調査で最も高くなっている。

「給食を残さず食べている」の割合は、低学年では約4割、高学年及び中学生では約5割となっています。

前回、前々回調査と比較すると、どの学年層でも「給食を残さず食べている」の割合が最も高くなっています。



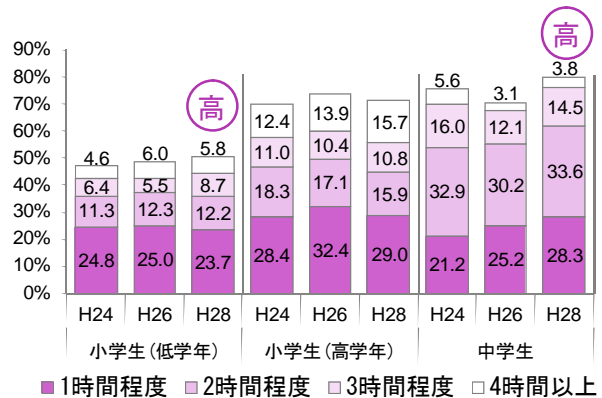
2. 勉強や読書について

Q 学校がある日に、家でどのくらい勉強をしていますか

小学校低学年、中学生で「家で1時間程度以上勉強する」の割合が過去3回の調査で最も高くなっている。

学校がある日に、「家で1時間程度以上勉強する」の割合は、低学年では約5割、高学年では約7割となっており、学年層が上がるにつれて勉強時間も増加する傾向が見られます。

前回、前々回調査と比較すると、低学年、中学生では「1時間程度以上勉強する」の割合が最も高くなっています。

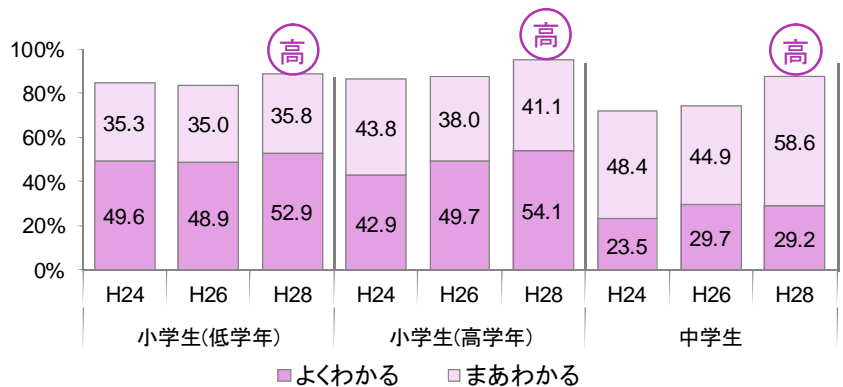


Q 学校の授業の内容がわかりますか

「学校の授業の内容がわかる」の割合が過去3回の調査で最も高くなっている。

「学校の授業の内容がわかる」(「よくわかる」+「まあわかる」)の割合は、低学年と中学生では8割を超えており、高学年では9割を超えています。

前回、前々回調査と比較すると、どの学年層でも「授業の内容がわかる」の割合が高くなっています。

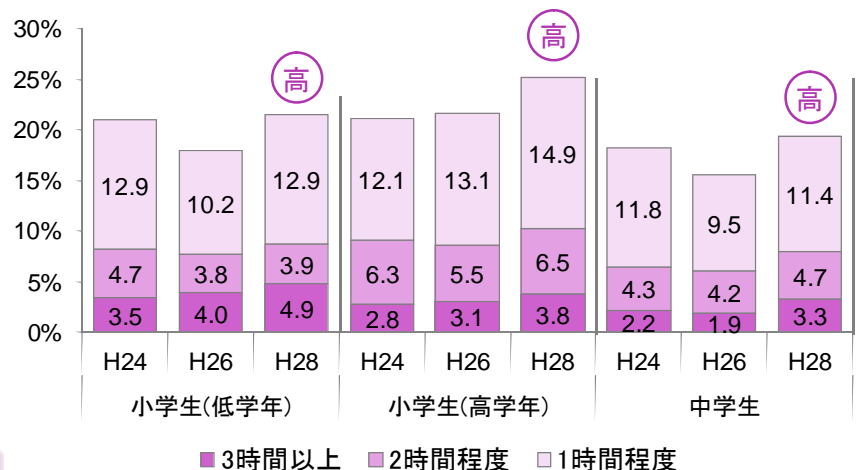


Q 学校の授業時間以外に、1日あたりどれくらいの時間、読書を読みますか

「1時間程度以上読書をする」の割合が、過去3回の調査で最も高くなっている。

学校の授業時間以外に1日あたり「1時間程度以上読書をする」の割合は、すべての学年層で約2割となっています。

前回、前々回調査と比較すると、どの学年層でも「1時間程度以上読書をする」の割合が高い傾向が見られます。



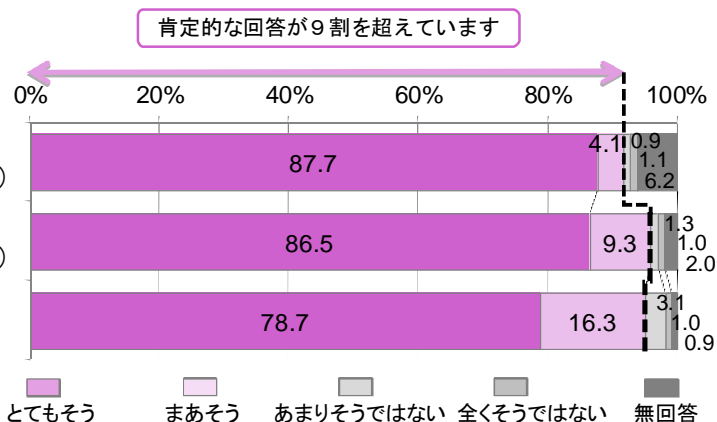
3. 友達との関係について

「いじめはいけないことだと思う」の割合が9割を超えている。また「いじめを見たら止める」「友達が悪いことをしたときに、注意できる」の割合が増加する傾向が見られる。

Q いじめはいけないことだと思う

「いじめはいけないことだと思う」(「とてもそう」+「まあそう」)の割合は、どの学年層でも9割を超えています。

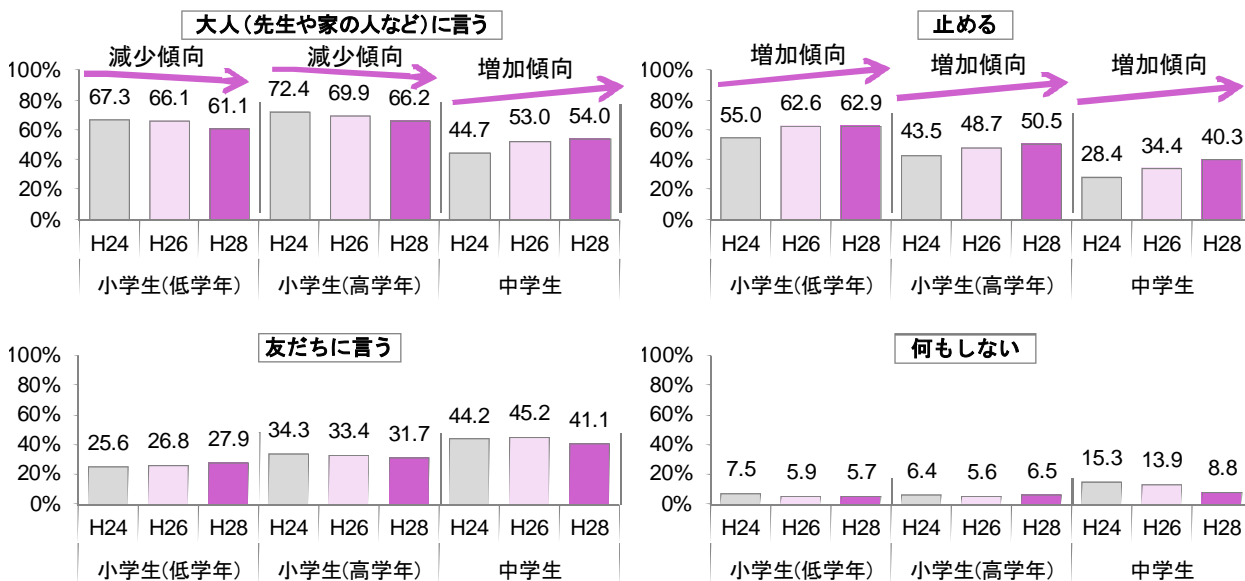
学年層の上昇にともない「とてもそう」の割合が減少し「まあそう」の割合が増加しています。



Q いじめを見たらどうしますか(複数回答)

「いじめを見たら大人に言う」の割合は、小学生で6割を超え、中学生では5割を超えています。

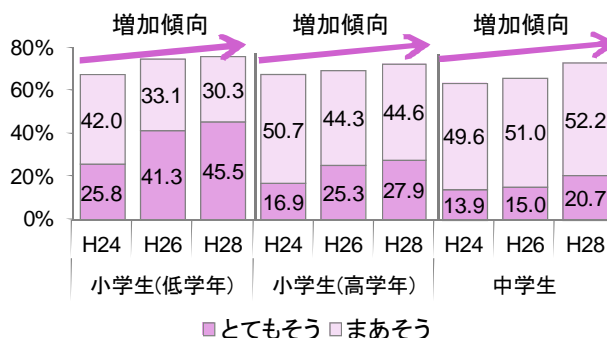
前回、前々回調査と比較すると、「大人に言う」の割合が小学生では減少し、中学生では増加、「止める」の割合はどの学年層でも増加する傾向が見られます。



Q 友達が悪いことをしたときに、注意できる

「友だちが悪いことをしたときに、注意できる」(「とてもそう」+「まあそう」)の割合は、小学生、中学生ともに7割を超えています。

前回、前々回調査と比較すると、どの学年層でも「注意できる」割合が増加する傾向が見られます。



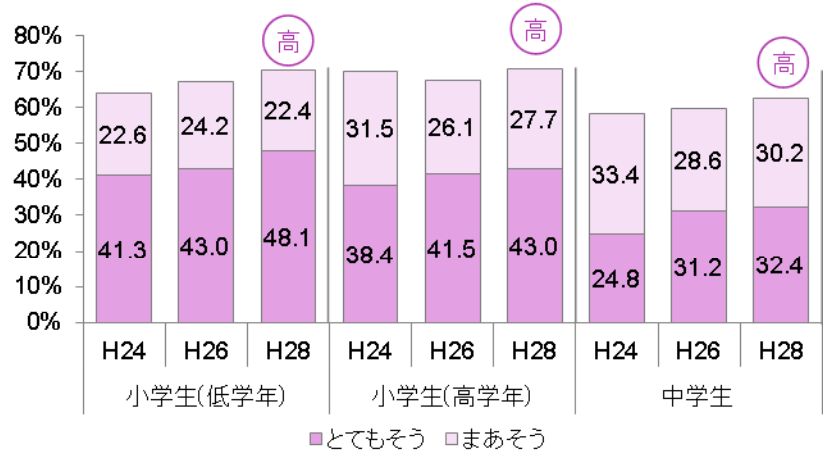
4. 地域の人たちとの関係について

「地域の活動に参加している」の割合が過去3回の調査で最も高くなっている。
また、小学生高学年及び中学生で「自分の住んでいる町や地域がとても好き」と感じている割合が増加する傾向が見られる。

Q 地域の活動（お祭り・子ども会・ごみ拾いやそうじなどの活動）に参加している

「地域の活動に参加している」（「とてもそう」+「まあそう」）の割合は、低学年・高学年ともに7割を超えています。中学生では約6割となっています。

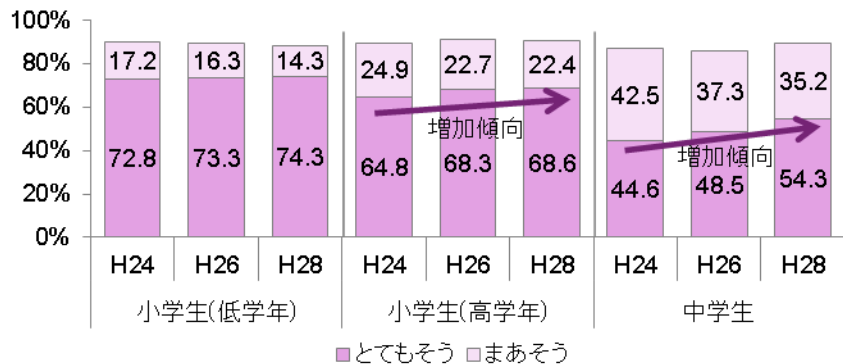
前回、前々回調査と比較すると、どの学年層でも「地域の活動に参加している」の割合が最も高くなっています。



Q 自分の住んでいる町や地域が好き

「自分の住んでいる街や地域が好き」（「とてもそう」+「まあそう」）の割合は、どの学年層でも約9割となっています。

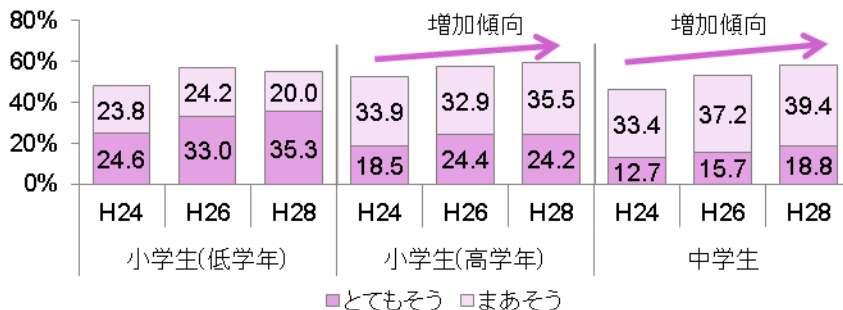
前回、前々回調査と比較すると、高学年及び中学生で「とてもそう」の割合が増加する傾向が見られます。



Q 近所の人はいけないことを注意してくれる

「近所の人はいけないことを注意してくれる」（「とてもそう」+「まあそう」）の割合は、小学生、中学生ともに5割を超えています。

前回、前々回調査と比較すると、高学年及び中学生で「いけないことを注意してくれる」の割合が増加する傾向が見られます。



5. 携帯電話やスマートフォンについて

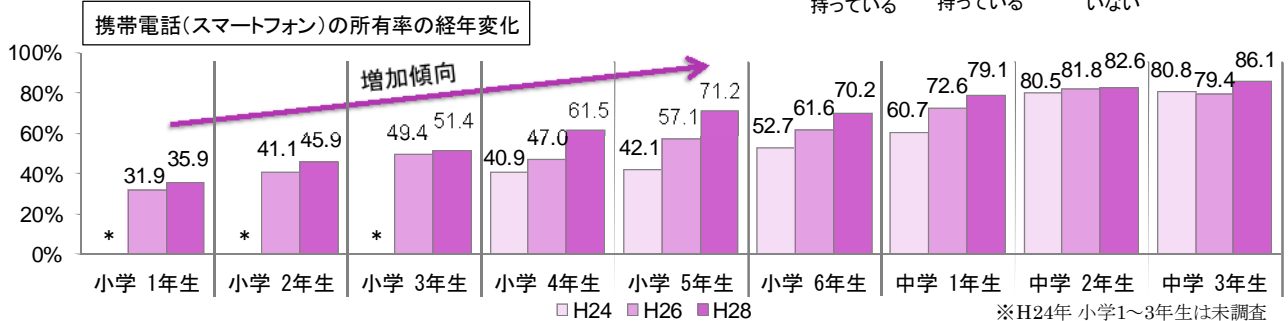
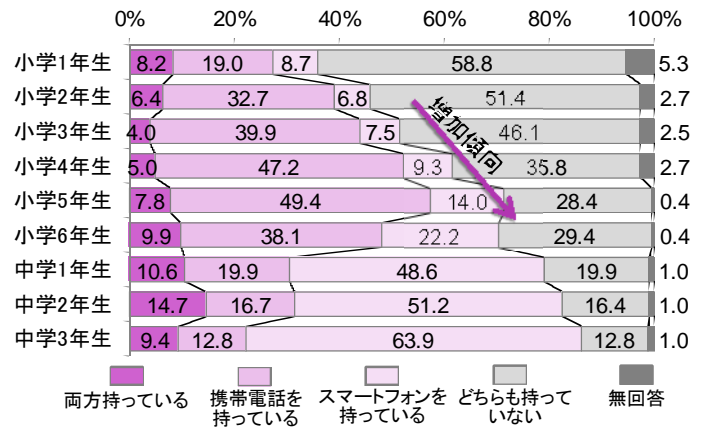
携帯電話やスマートフォンの所有率は年々増加しており、小学3年生以上で5割を超え、中学生で約8割となっている。

Q 自分の携帯電話やスマートフォンを持っていますか

「自分の携帯電話やスマートフォンを持っている」の割合は、学年が上がるにともない増加しており、小学生3年生で5割を超え、中学生では8割を超えています。

小学生では携帯電話の所有率が高く、中学生ではスマートフォンの所有率が高くなっています。

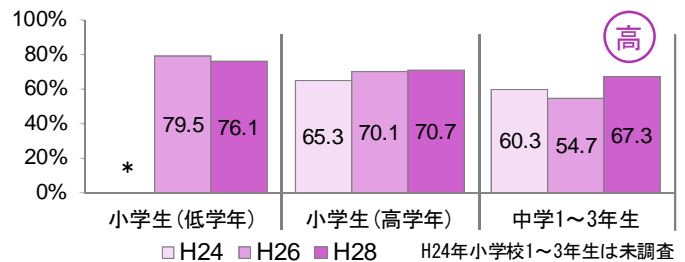
前回、前々回調査と比較すると、どの学年でも所有率が増加しています。



Q 家では、ネットやメール、携帯電話やスマートフォンの使い方について、ルールが決まっていますか

「ネット等の利用ルールが決まっている」の割合は、低学年で7割を大きく超え、高学年及び中学生では約7割となっています。

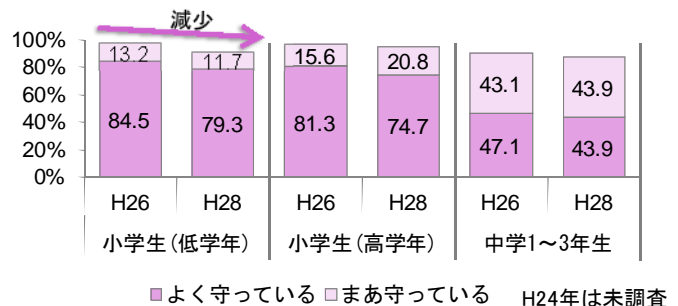
前回、前々回調査と比較すると、特に中学生で「ルールが決まっている」の割合が高くなっています。



Q ネットやメール、携帯電話やスマートフォンの使い方のルールを守っていますか

「ネット等の利用ルールを守っている」の割合は、小学生では9割を超えており、中学生では8割を超えています。

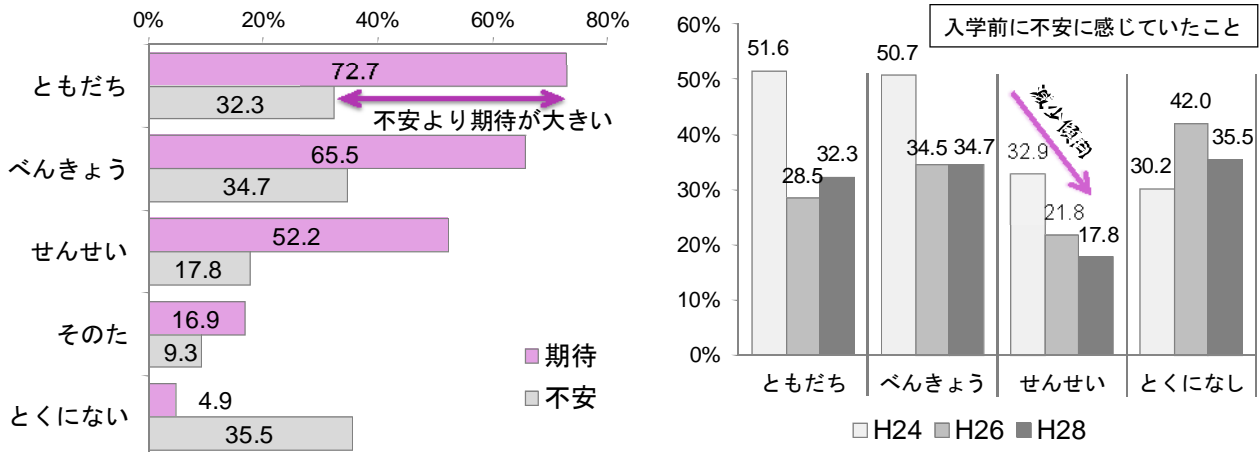
前回調査と比較すると、低学年の「ルールを守っている」の割合が減少しています。



6. 進学先の生活についての不安と期待

Q 幼稚園・こども園・保育園のころ、小学校生活について「期待や楽しみ」「心配や不安」に感じていたことは何ですか（複数回答）

小学校入学前に感じていたのは、心配や不安より、期待や楽しみの割合の方が大きい。不安に感じていたことで「せんせい」の割合が減少傾向にある。



小学校生活について「期待や楽しみ」に感じていた割合は、「ともだち」が最も多く、続いて「べんきょう」「せんせい」となっています。「心配や不安」に感じている割合は、「とくにない」「べんきょう」「ともだち」の順で多くなっています。どの項目も、「心配や不安」より「期待や楽しみ」に感じていた割合の方が高くなっています。

不安に感じていたことを前回、前々回調査と比較すると、「せんせい」の割合が減少する傾向にあります。

Q 中学校生活について、「期待や楽しみ」「不安や心配」「入学後困った」と感じていたことは何ですか（複数回答）

中学校入学前に不安や心配に感じていた割合より、入学後困ったことの割合の方が少ないが「勉強」については約5割の生徒が入学後困ったと感じている。

中学校生活について「期待や楽しみ」に感じていた割合は「部活動」「新しい友達」「勉強」の順に高くなっており、「心配や不安」に感じていた割合は「勉強」「上級生」「学校の決まり」の順で高くなっています。「勉強」「学校の決まり」「上級生」については、期待より不安に感じていた割合の方が高くなっています。

「入学後困ったこと」は「勉強」「特になし」「部活動」の順となっており、入学前に不安に感じていた割合を下回っています。一方で「勉強」については、約5割の生徒が入学後も困ったと感じています。

